

事務事業名	がん患者医療用補整具購入助成事業				担当	健康福祉部 健康増進課 地域医療係					
政策名	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ!～				☐ 総重（総合計画重点事業）	☐ 総新（総合計画新規事業）				
施策名	6	健康づくりの推進				☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 戦新（総合戦略新規事業）				
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 真岡市健康21プラン				事業期間	☐ 単年度のみ					
法令根拠	真岡市がん患者医療用ウィッグ等購入費補助金交付要綱					☒ 毎年度実施（開始年度 令和2 年度～）					
予算科目	1.一般会計	4.衛生費	1.保健衛生費	1.保健衛生総務事務費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）					
予算科目											
予算科目											
事業概要	がん患者の治療に伴う外見の変化をカバーするための、医療用ウィッグと乳房補整具の購入に要する経費の一部を助成することにより、がん患者の心理的、経済的な負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上を図り、もって就労継続等の社会生活を支援することを目的とするもの。 助成額 購入経費の9割 限度額 医療用ウィッグ 30,000円 乳房補整具 右側・左側 各20,000円 財源 令和2年度：市単 令和3年度から県の補助が開始された。県の補助額は、市の補助額と県の限度額20,000円を比較し、低い額の1/2										

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
6年度実績 助成件数 36件（795,200円） 内訳 医療用ウィッグ 18件（515,400円） 乳房補整具 18件（279,800円） 7年度計画 医療用ウィッグ 35件 乳房補整具 10件				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 医療用ウィッグ助成件数	件	21	30	18	18	35
				イ 乳房補整具助成件数	件	6	10	8	18	10
				ウ 補助金交付額	千円	692	1,062	644	796	1,250
				エ						
				オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 がんの治療に伴う外見の変化による悩みを抱える患者。 がん患者数の見込については、前年度と同値とした。				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア がん患者数（栃木県のがんより）	人	597	694	687		
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） がん患者の心理的及び経済的な負担を軽減し、治療及び就労の両立、療養生活の質の向上が図られる。				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
				ア 医療用ウィッグ助成件数	件	21	30	18	18	35
				イ 乳房補整具助成件数	件	6	10	8	18	10
				ウ						
				エ						
				オ						
(2) 総事業費の推移		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	248	387	231	314	450		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	444	675	413	482	800		
	事業費計（A）		千円	692	1,062	644	796	1,250		

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 真岡市がん患者医療用ウィッグ等購入費補助金交付要綱に基づき実施しており、がん患者の治療と就労の両立、及び療養生活の質の向上が図られることは、がん対策の推進（真岡市健康21プラン）に結びつく。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) がん対策は市民生活や健康づくりに不可欠であり、治療中・後においても心理的・経済的負担を軽減することは、市民が健康でいきいきと暮らすことにつながるため、市が行う事業である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 真岡市健康21プランにおいてがん対策を掲げており、市民がいきいきと暮らせるよう施策として推進しているため適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある (評価理由) 真岡市がん患者医療用ウィッグ等購入費補助金交付要綱に基づき実施し、総合計画の施策の目的に合致しているため、向上の余地はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる（類似の事務事業名： ） ☐ 類似事業と統合・連携できない（類似の事務事業名： ） ☒ 類似事業はない (評価理由) 他に類似事業はない。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 必要最小の事業費で実施しており、削減はできない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（☐：目的妥当性 ☐：有効性 ☐：効率性） ☐ 統合 ☒ 継続 真岡市がん患者医療用ウィッグ等購入費補助金交付要綱に基づき補助金を交付することで、がん患者の心理的、経済的な負担を軽減するとともに、治療および就労の両立や療養生活の質の向上を図ることにより、市民がいきいきと暮らすことができるがん対策の推進につながるため継続とする。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td style="text-align: right;">／＼</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td style="text-align: left;">／＼</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	／＼	低下		／＼	
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	／＼																		
	低下		／＼																			
(2) 課題、課題の克服の方向性																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	/	低下		/	/
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	/																			
	低下		/	/																			
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他 2次評価会議で指摘された事項 周知方法を検討し補助事業の利用者の増加を推進していくこと。																					